

# 平成 29 年度 上津役中だより

平成 30 年 3 月 6 日  
北九州市立上津役中学校  
校長 森 隆  
No. 1 1

春光おだやかな季節となりましたが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。3 年生は、いよいよ明日に公立高等学校一般入試があります。その 2 日後は卒業式で、本校を巣立っていくこととなります。今週で 3 年生ともお別れですが、まだ実感が湧いていないのが正直なところです。この 3 年生は、非常に感じの良い生徒ばかりで、爽やかな挨拶や礼儀正しい言葉遣い、何事にも一所懸命に取り組む姿勢、みんなで協力して一つのことを成し遂げる団結力、どれも 1 年生・2 年生の模範になっていました。実際、1 年生 2 年生共に、爽やかな挨拶ができる生徒が増えてきました。本校の中央階段の踊り場に掲示している「挨拶・服装・言葉遣い+1」が学校全体としてできているように思います。

## 百人一首大会、楽しく学習できました！

1 月 30 日（火）、本校武道場にて、1 年の百人一首大会が開催されました。生徒達は、上の句をしっかり覚えている人が多くの札を獲得できました。優勝した 2 組、準優勝した 1 組の皆さんおめでとうございます。また、ベスト 10 に入った下記の皆さんは、地道に努力することの大切さを実感できたのではないのでしょうか。同じ班に実力のある人が重なっていて、実力はあるのに、ベスト 10 に入れなかった人もいると思います。悔しさをバネに、是非、次回頑張ってくださいと思います。歌を覚え昔の情緒を楽しむことも大切ですし、努力したことは自分が一番分かっていると思います。努力は、決して裏切りません。頑張った自分を褒めてあげましょう。

【お手つきしてしまって、残念！】

【遠くにある札を、手を精一杯伸ばして、身を乗り出して、獲得！】



《結果》

団体の部	優勝： 1 年 2 組	準優勝： 1 年 1 組
個人の部	優勝： 近 藤 菜 月（60 枚）	準優勝： 末 次 亜衣実（59 枚）
	3 位： 奥 畑 仁 嗣（47 枚）	4 位： 辻 真 珠（42 枚）
	5 位： 内 田 友 基（41 枚）	6 位： 西 藤 す ず（40 枚）
	6 位： 吉 井 梨穂菜（40 枚）	6 位： 佐 藤 怜 奈（40 枚）
	9 位： 山 崎 京（36 枚）	9 位： 岡 田 朋 樹（36 枚）

## 新入生説明会が行われました！

2 月 2 日（金）の午後から来年度入学してくる予定の小学校 6 年生を迎えて、新入生説明会を開催し

ました。教務主任の西先生や生徒指導主事の豊田先生から、本校の学習や年間の行事、部活動や校内の決まりについてのお話がありました。生徒会執行部の皆さんからは、登下校の服装や体操服、日常生活や定期考査などについて説明がありました。どの児童も真剣な眼差しで聞いてくれました。今の上津役中学校は、安心して学校生活ができ、非常に落ち着いていて学習がしやすい雰囲気できています。そのすばらしさを継続し、新入生の皆さんが充実した学校生活ができるようになることを信じています。

また、来年度本校に入学してくる小学生は、中学校の授業を体験しました。中学校への不安を少しでも解消してもらうために、本校の先生方の授業を楽しく受けてもらいました。

【保健体育：武道に挑戦「柔道」】



【社会：歴史の勉強をしよう】



【美術：鉛筆で描こう】

【英語：英語で自己紹介&ゲーム】



【音楽：ボディパーカッション】



【家庭：6つの食品群に分類しよう】



【数学：算数とは違う数学を体験！】



【理科：顕微鏡を使えるように！】



## 北九州市中学生合唱フェスティバルで、感動しました！

2月3日（土）北九州ソレイユホールで、本校合唱部が素晴らしい歌声を披露しました。第二部の中学校ブロック合唱「Let's Enjoy ～ディズニーの世界～」と題して、北九州市内の中学校が5ブロックに分かれ、合唱しました。そのうちの2ブロック目に本校が出演し、上津役中・熊西中・千代中・引野中・八見中・二島中学校の6校で、合同合唱をしました。舞台上上がると100名程の生徒一人一人が非常によく練習を積んでいるので、迫力があり、美しい歌声が会場一杯に響き渡りました。「アナと雪の女王」より「雪だるまをつくろう」「生まれてはじめて」「Let It Go～ありのまままで～」の3曲が熱唱されました。有名で何度も聞いて耳慣れた曲だったので、なおさら感動させてもらいました。ありがとうございました。

## 先生方も勉強しています。

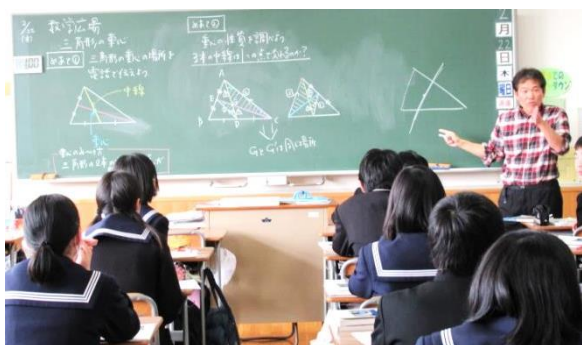
◇ 松村先生が、2月19日5校時に、2年4組で道徳の授業を行いました。主題名は「誠実な生き方」で、「ネット将棋」という読み物資料を使い、模範となる素晴らしい授業を展開してくれました。松村先生の話術や表情で生徒が和み、板書や色分けした円盤、付箋など様々な工夫を凝らし、生徒の発言を引き出し、話し合い活動を活発にさせていました。その中で生徒に主体的に考えさせ、深い学びへと

誘いました。松村先生は、今年度学力向上推進担当教員として、本校を拠点に他4校の学校の学力向上の為に働いている先生です。その中で若手の教師の指導にもあたっています。今回、山本先生の道徳の授業力を高めるために、十分な話し合いを積み重ねて示範となる授業を行いました。

- ◇ 山本先生が、2月22日の2校時に、2年3組で道徳の授業を行いました。松村先生と同じ「ネット将棋」という読み物資料を使い、松村先生とじっくり話し合いながら授業の準備を行いました。そのため、2年3組生徒が非常に深く考える授業となりました。授業の最後に生徒が振り返って書いた感想は、自分の生き方や考え方を見つめ直すような素晴らしい内容の文章でした。



- ◇ 近藤先生が、2月22日4校時に数学の研究授業を行いました。  
【先生の分かり易い説明を真剣に聴く3年2組の生徒達】



「三角形の重心の場所を電話で伝えよう」と「重心の性質を調べよう」というめあてでしたが、三角形の画用紙や定規等の具体物を使って考えさせ、先生の問かけや説明が素晴らしいので、生徒が自然と授業にのめり込んでいきました。どの生徒も面白がって話し合い、真剣に考えており、学ぶことや考えることの楽しさを味わえる授業でした。

## 2年生、「思春期健康教室」で、命の尊さを学びました！

2月22日の5・6校時に、2年生を対象に「思春期健康教室（性教育）」を行いました。講師の村田千代子様は、毎年、上津役中学校に来て、2年生に向けてお話を聞かせてくださっています。八幡西区穴生にある母子保健指導センター所長で、産後のお母さんの子育ての仕方を指導しています。出産後のおっぱい相談や子育て相談、寝かしつけや離乳食などの相談に乗っておられる子育ての専門家です。その村田先生の講話は、今年で10年目になります。現実にあった話を歯に衣着せずズバズバと言葉を出して、話を進めますので、生徒も自分達のことと受け止めて真剣に話を聞いていました。性感染症の怖さ、妊娠・人工中絶の問題、赤ちゃんが生まれてくる時の様子などを様々な具体物を使って説明してくれるので、非常に分かり易く、生徒は現実のものとして感じていました。特に赤ちゃんの人工中絶の際には、中絶器具を使って赤ちゃんを切り刻む場面の説明があり、小さな命を奪ってしまうことへの強烈な罪悪感を感じ取りました。また、お母さんの骨盤から赤ちゃんの人形が頭から出てくる場面を再現することで、お母さんの出産時の痛みと赤ちゃんへの愛情の深さを感じずにはいられませんでした。そして出産したお母さんが言う言葉「生まれてきてくれてあり

【母の骨盤から赤ちゃんの頭が出てくる場面を実演】



【左手に子宮（風船）右手に器具（はさみのような物）を持って人工中絶の恐ろしさを語る村田先生】 ↓



がとう」その命が誕生する尊さが心に刻まれました。約1時間半の講演でしたが、真剣に感じ、考えさせられている内に、あっという間に時間が過ぎたように思います。

## 「3年生を送る会」を、盛大に開催！

3月2日（金）に、本校体育館で、「3年生を送る会」を行いました。1・2年生の生徒会執行部が中心となって会を盛り上げてくれました。「思い出のアルバム」や3年生がお世話になった先生方からの「ビデオレター」が上映されたときは、3年生も1年生に戻ったかのように、楽しそうな声で笑い、大はしゃぎでした。その後、記念品贈呈では1・2年生が心を込めて作った「コサージュ」と「しおり」が手渡されました。その後、1・2年生が富永裕輔作詞・作曲の「明日への翼」を熱唱し、美しい歌声を披露しました。そして、3年生が合唱「We are the world」と「群青」を熱唱。なかでも「群青」で、ピアノの伴奏者が学年主任の近藤先生だったことには、会場の誰もが驚き、感動しました。3年生の生徒と先生方の絆を感じ、ほのぼのとした温かさ、幸せを感じました。くす玉割りでは、なかなか割れずに時間がかかりましたが、全校生徒の皆さんが生徒会執行部の頑張りに感謝していただけない、その失敗もくす玉が割れるまで全校生徒が温かく見守り、素晴らしい惜別式となりました。

【3年生に1・2年生が記念品を渡す場面】



【1・2年生が「明日への翼」の合唱をプレゼント】



【ドッキリでほのぼのとした笑いを届けてくれた】【3年生の先生方に、感謝の気持ちを込めて色紙贈呈】



【3年生による学年合唱で、「群青」を披露！】

学年主任の近藤先生（左手中央）がピアノを伴奏し、3年生の生徒と先生方の絆と温かさを感じた。

